

農林水産統計

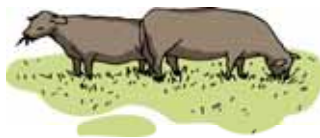
STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年 6月 8日公表

九州の畜産統計（4畜種の飼養動向）

平成18年2月1日現在

- 肉用牛飼養頭数は5年連続で100万頭台 -



【調査結果の概要】

- 1 乳用牛の飼養戸数は2,880戸で、前年に比べやや減少(3.7%)し、飼養頭数は14万8,500頭で、前年に比べわずかに減少(1.9%)しました。
- 2 肉用牛の飼養戸数は3万8,300戸で、前年に比べやや減少(4.0%)し、飼養頭数は101万頭で、前年並みとなりました。
- 3 豚の飼養戸数は2,340戸で、前回に比べかなり減少(7.9%)し、飼養頭数は308万1,000頭で、前回に比べやや増加(2.1%)しました。
- 4 採卵鶏の飼養戸数(種鶏のみを除く)は699戸で、前回に比べかなり減少(13.1%)し、飼養羽数(成鶏めす羽数)は2,034万9千羽で、前回に比べやや減少(5.7%)しました。

総括表

区分	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸当たり 飼養頭(羽)数	対前年比(対前回比)	
				飼養戸数	飼養頭(羽)数
	戸	頭(千羽)	頭(千羽)	%	%
乳用牛	2 880	148 500	51.6	96.3	98.1
肉用牛	38 300	1 010 000	26.4	96.0	99.9
豚	2 340	3 081 000	1316.7	92.1	102.1
採卵鶏	699	20 349	29.1	86.9	94.3

豚、採卵鶏については、前回、平成16年2月1日現在で調査をしています。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご使用いただけます。
【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

本統計における調査の目的、調査の対象などは【調査の仕様】P14に掲載しています。

【解 説】

1 乳用牛

(1) 平成18年2月1日現在(以下、各畜種とも同じ。)の九州における乳用牛の飼養戸数は2,880戸で、前年に比べやや減少(3.7%)しました。

これは、飼養者の高齢化と後継者不足等による飼養中止があったためです。

一方、飼養頭数は生乳生産抑制対策による乳房炎牛等搾乳牛のと畜が実施されたこと等から前年に比べわずかに減少(1.9%)し、14万8,500頭となりました。

この結果、九州の1戸当たり飼養頭数は51.6頭(全国平均61.5頭)で、前年を1.0頭上回りました。

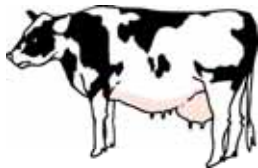
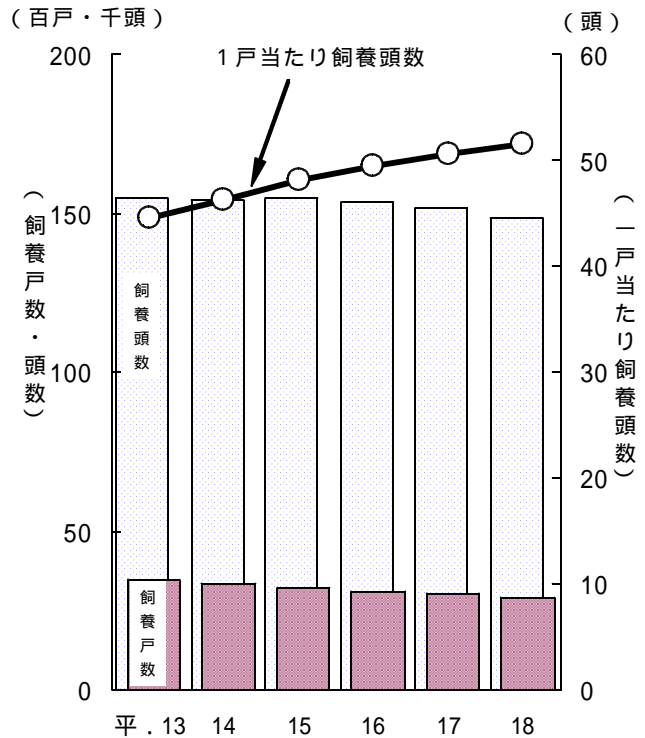


図 - 1 乳用牛の飼養動向



(2) 全国の飼養戸数、頭数に占める九州の割合はそれぞれ約1割で、九州では熊本が飼養戸数・頭数ともに約3割を占めています。

図 - 2 全国及び九州に占める飼養頭数割合

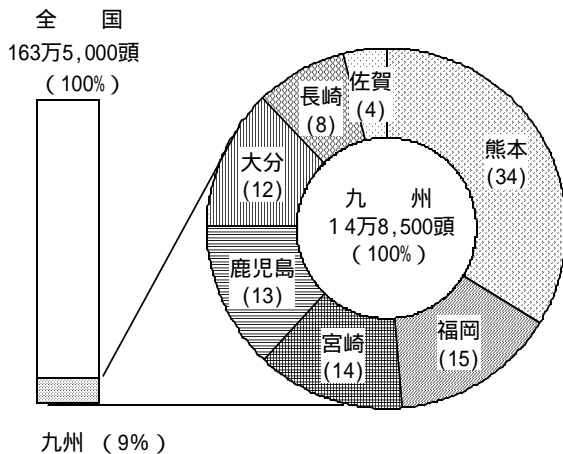
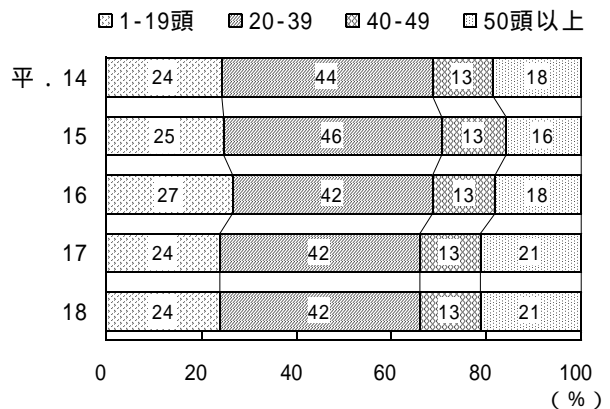


図 - 3 成畜頭数規模別飼養戸数割合



2 肉用牛

(1) 九州における肉用牛の飼養戸数は3万8,300戸で、前年に比べやや減少(4.0%)しました。

これは、飼養者の高齢化や後継者不足等により、小規模な飼養者階層を中心に飼養中止があったためです。

飼養頭数は101万頭で、飼養中止があったものの、牛肉価格の高騰を反映して、規模拡大等が図られたことにより、前年並みとなりました。

この結果、九州の1戸当たり飼養頭数は26.4頭(全国平均32.2頭)となり、前年を1.1頭上回りました。

飼養頭数を種別にみると、肉用種は子取りめす及び肥育用牛が前年並みで、肉用種全体でも82万4,900頭となり、前年並みになりました。

また、乳用種も18万5,000頭で、前年並みになりました。

(2) 全国の飼養戸数、頭数に占める九州の割合は、戸数、頭数ともに約4割となっています。

また、九州では鹿児島、宮崎両県で飼養戸数の約7割、飼養頭数の約6割を占めています。

(3) 飼養頭数を規模別にみると、小規模階層で減少傾向となっています。

また、100頭以上の飼養規模階層の飼養頭数が、全体の5割を占めています。



図 - 4 肉用牛の飼養動向

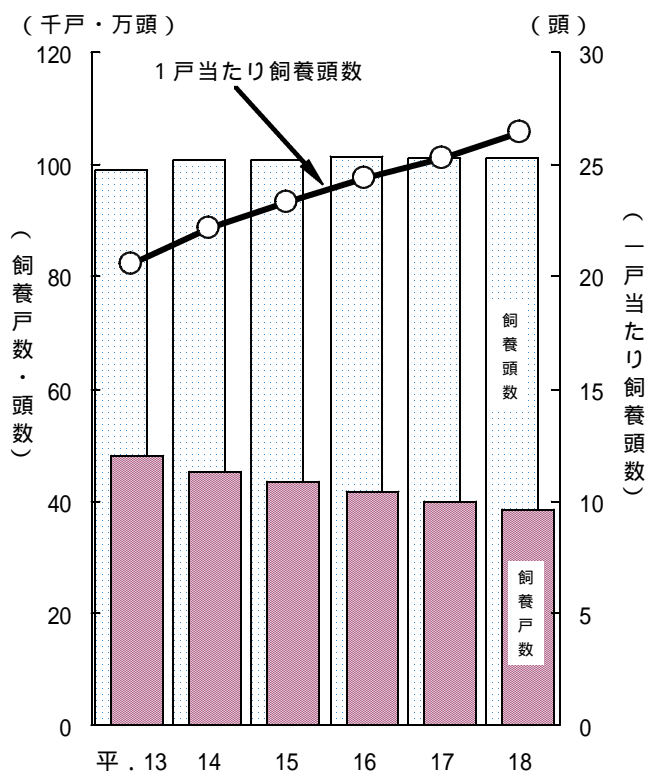


図 - 5 全国及び九州に占める飼養頭数割合

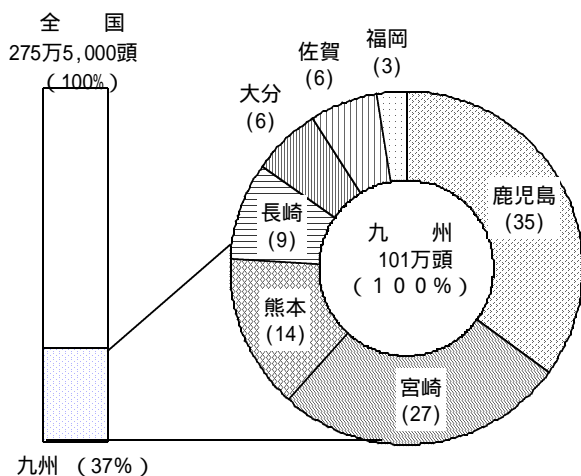
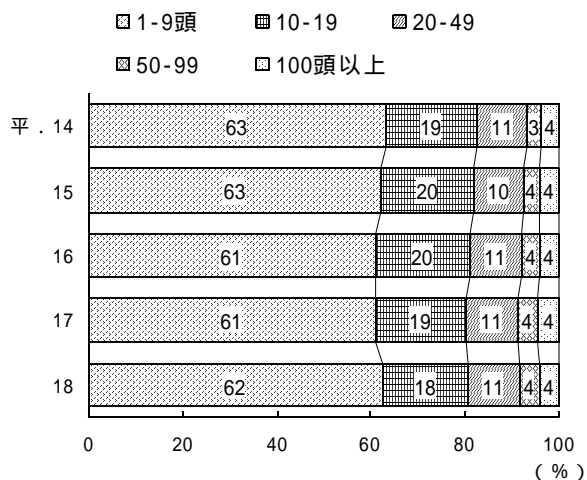


図 - 6 総飼養頭数の飼養規模別戸数割合



3 豚

(1) 豚の飼養戸数は2,340戸で、前回に比べかなり減少(7.9%)しました。

これは、飼養者の高齢化・後継者不足等により、飼養中止があったためです。

飼養頭数は飼養中止がみられたものの、規模拡大を図る飼養者がみられたことから、前回よりやや増加(2.1%)し、308万1,000頭となりました。

この結果、1戸当たりの飼養頭数は、1,317頭(全国平均1,233頭)で、前回に比べ124頭増加しました。

(2) 全国の飼養戸数、頭数に占める九州の割合は、ともに約3割となっています。

また、九州では飼養戸数、頭数ともに鹿児島・宮崎両県で7割を超えています。

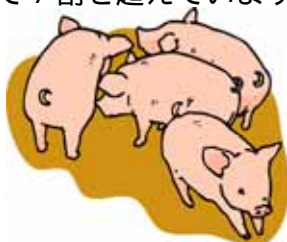


図 - 8 全国及び九州に占める飼養頭数割合

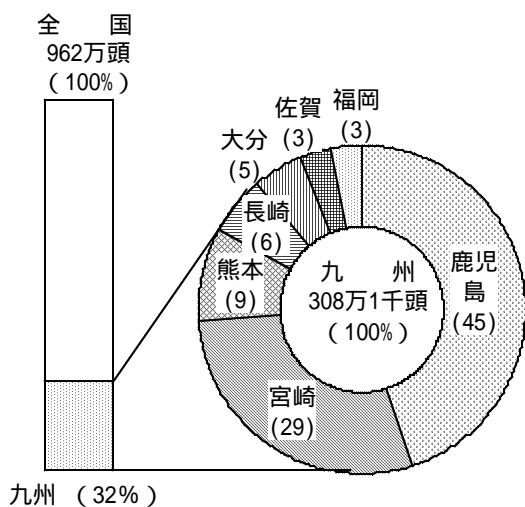


図 - 7 豚の飼養動向

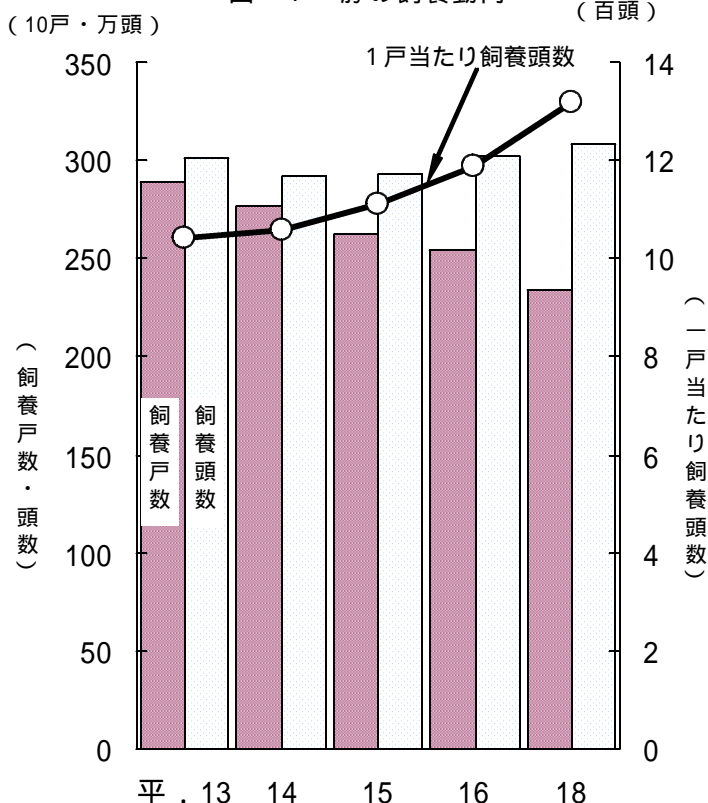
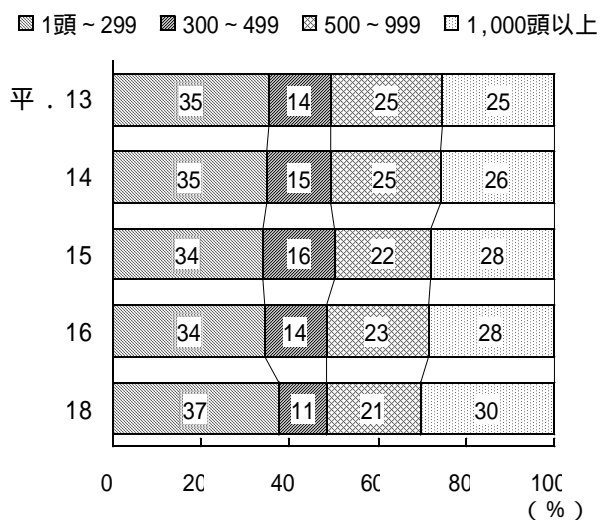


図 - 9 肥育豚頭数規模別飼養戸数割合



4 採卵鶏

(1) 採卵鶏の飼養戸数は699戸で、前回に比べかなり減少(13.1%)しました。

これは、飼養者の高齢化・後継者不足等により、飼養中止があったためです。

飼養羽数は規模拡大がみられたものの、飼養中止や規模の縮小もあったため、前回よりやや減少(5.7%)し、2,034万9千羽となりました。

この結果、1戸当たりの飼養羽数は2万9,100羽(全国平均3万7,900羽)となりました。

(2) 全国の飼養戸数、羽数に占める九州の割合は、ともに約2割となっています。

また、九州では鹿児島、福岡及び宮崎県で飼養羽数が7割を超えています。



図 - 11 全国及び九州に占める飼養羽数割合

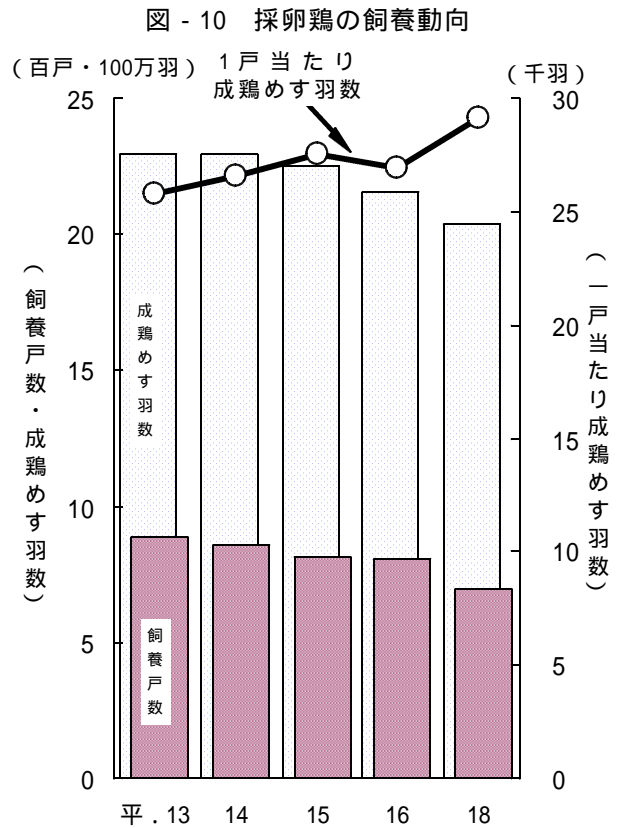
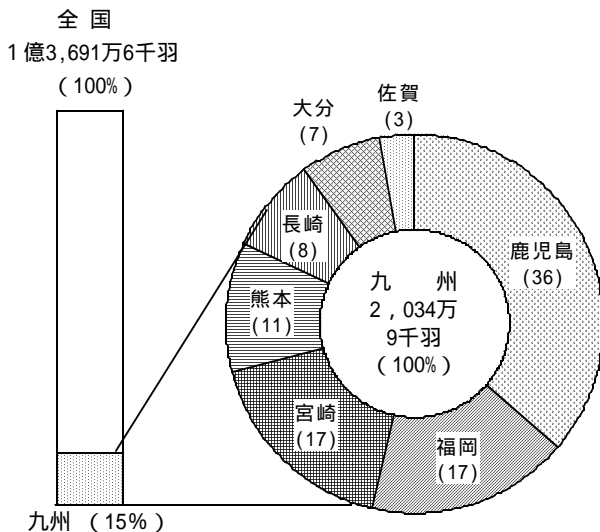
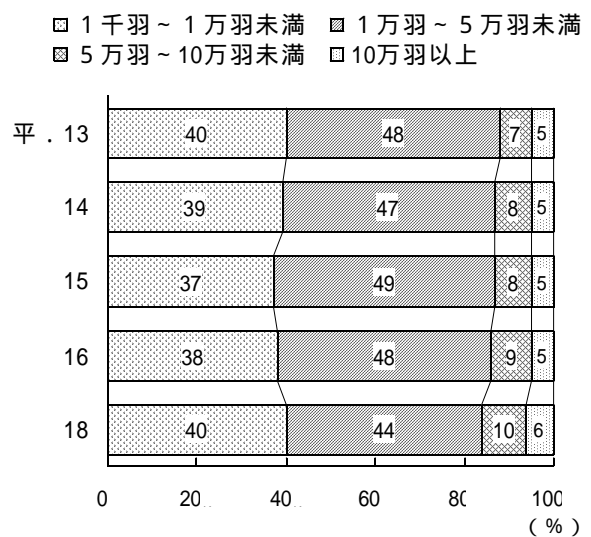


図 - 12 成鶏めす羽数規模別戸数割合



【統計表】

1 乳用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数(め)				
		合計	2歳以上			
			計	経産牛		
小計	搾乳牛	乾乳牛				
全国	26 600	1 635 000	1 130 000	1 046 000	899 900	146 100
九州	2 880	148 500	110 500	102 600	88 300	14 300
福岡	405	21 600	15 900	14 600	12 800	1 840
佐賀	167	5 930	4 560	4 220	3 720	500
長崎	264	12 400	9 110	8 750	7 630	1 120
熊本	925	50 300	38 000	34 800	30 000	4 810
大分	267	18 300	13 700	13 200	11 000	2 120
宮崎	465	20 000	14 700	14 100	12 200	1 920
鹿児島	382	19 800	14 600	12 900	10 900	1 980

注：計と内訳の合計が一致しないものは、ラウンドの関係である。(以下、各表とも同じ。)

2 肉用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数		飼			
			合計	肉		
	乳用種	計		肥育用牛	黒毛和種	
全国	85 600	8 050	2 755 000	1 703 000	716 500	1 619 000
九州	38 300	1 600	1 010 000	824 900	326 500	777 200
福岡	231	115	28 600	16 200	15 300	9 810
佐賀	1 060	69	61 800	55 400	41 200	55 200
長崎	4 440	88	89 600	71 000	28 300	69 300
熊本	4 340	648	142 500	85 900	37 800	60 300
大分	2 530	207	63 800	46 700	11 700	46 600
宮崎	10 600	309	270 900	230 100	70 700	220 700
鹿児島	15 100	160	352 800	319 600	121 400	315 300

2 肉用牛の飼養戸数・頭数(つづき)

区分	飼養種					頭数	
	肉用種				乳用		
	おす				計	交雑種	
	小計	1歳未満	1歳	2歳以上			
全国	613 000	238 900	258 200	115 900	1 052 000	583 800	
九州	294 900	118 300	124 600	52 000	185 000	124 000	
福岡	10 700	1 420	7 000	2 330	12 300	8 580	
佐賀	26 000	5 410	13 700	6 840	6 400	6 320	
長崎	28 600	8 530	12 400	7 650	18 600	10 500	
熊本	36 800	13 900	18 000	4 960	56 600	38 300	
大分	13 300	6 020	5 170	2 100	171 000	8 090	
宮崎	72 300	34 800	27 600	9 820	40 800	28 900	
鹿児島	107 300	48 200	40 800	18 300	33 200	23 400	

単位 { 戸数：戸
頭数：頭
比率：%

す)		搾乳牛 頭数比	2歳未満 頭数比	1戸当たり 飼養頭数	対前年比	
上	2歳未満 (未経産 牛)				飼養戸数	飼養頭数
未経産牛						
84 400	504 900	86.0	30.9	61.5	96.0	98.8
7 920	38 000	86.1	25.6	51.6	96.3	98.1
1 230	5 780	87.7	26.8	53.3	97.1	95.6
340	1 370	88.2	23.1	35.5	92.8	94.6
370	3 340	87.2	26.9	47.0	95.0	96.9
3 260	12 300	86.2	24.5	54.4	96.6	100.4
500	4 640	83.3	25.4	68.5	95.7	99.5
530	5 340	86.5	26.7	43.0	96.7	96.6
1 690	5 240	84.5	26.5	51.8	95.7	97.1

養		頭		数		
用		種		め		
褐毛和種	そ の 他	す		1 歳	2 歳 以上	
		小 計	1 歳 未 満			
32 300	51 400	1 090 000	205 800	225 500	658 400	
24 200	23 500	530 000	101 400	103 400	325 200	
730	5 700	5 490	650	3 190	1 650	
10	180	29 400	4 480	11 000	14 000	
1 510	190	42 400	7 630	7 160	27 700	
21 600	4 090	49 100	9 110	11 100	28 900	
40	-	33 400	5 310	4 600	23 500	
10	9 400	157 800	29 200	28 500	100 100	
320	3 990	212 300	45 000	37 800	129 500	

単位 { 戸数：戸
頭数：頭
比率：%

種	1戸当たり 飼養頭数	乳用種の 飼養頭 割合	対前年比	
			飼養戸数	飼養頭数
めす				
295 900	32.2	38.2	95.5	100.3
50 300	26.4	18.3	96.0	99.9
5 060	123.8	43.0	99.6	102.9
1 690	58.3	10.4	96.4	101.5
3 430	20.2	20.8	96.7	100.3
11 600	32.8	39.7	97.7	95.5
4 780	25.2	26.8	98.1	96.5
12 300	25.6	15.1	94.6	101.0
11 500	23.4	9.4	95.6	100.8

3 豚の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数		飼養頭			
	子取り用 めす豚		計	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚
全 国	7 800	6 780	9 620 000	907 100	60 100	7 943 000
九 州	2 340	2 010	3 081 000	279 900	18 500	2 564 000
福 岡	79	57	78 300	7 000	480	64 900
佐 賀	96	91	82 300	8 150	620	66 600
長 崎	172	152	195 700	18 400	1 370	171 400
熊 本	309	287	276 500	25 000	2 090	232 200
大 分	92	83	149 000	13 300	880	128 500
宮 崎	662	578	903 400	86 300	5 300	744 200
鹿児島	926	766	1 396 000	121 700	7 730	1 156 000

4 採卵鶏の飼養戸数・羽数

単位 { 戸数：戸
羽数：千羽
比率：%

区分	採卵鶏の 飼養戸数	採卵鶏飼養羽数			1戸当り 成鶏めす 羽数	対前年比	
		計	成鶏めす	ひな		飼養戸数 (採卵鶏)	成鶏めす羽数 (6か月以上)
全 国	3 610	176 955	136 916	40 039	37.9	88.3	99.8
九 州	699	26 248	20 349	5 899	29.1	86.9	94.3
福 岡	144	4 579	3 500	1 079	24.3	102.1	94.1
佐 賀	46	844	645	199	14.0	109.5	98.2
長 崎	91	2 093	1 802	291	19.8	92.9	96.1
熊 本	82	2 808	2 297	511	28.0	85.4	99.9
大 分	50	1 757	1 323	434	26.5	86.2	84.8
宮 崎	84	4 012	3 382	630	40.3	80.0	98.7
鹿児島	202	10 155	7 400	2 755	36.6	76.5	91.9

単位 { 戸数：戸
頭数：頭
比率：%

数	1戸当たり 飼養頭数	子取り用 豚 めす 飼養頭 割合	対 前 回 比	
			飼養戸数	飼養頭数
710 500	1 233.3	9.4	87.8	98.9
219 000	1 316.7	9.1	92.1	102.1
5 930	991.1	8.9	89.8	100.5
6 930	857.3	9.9	86.5	96.4
4 550	1 137.8	9.4	89.6	100.0
17 200	894.8	9.0	93.1	97.1
6 310	1 619.6	8.9	90.2	110.8
67 600	1 364.7	9.6	90.7	104.6
110 500	1 507.6	8.7	94.3	101.3

5 規模別飼養戸数

(1) 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数

区分	計	小計					
		1~9頭	10~14	15~19	20~29	30~39	
全 国	26 300	25 700	2 900	1 860	1 990	4 110	3 920
九 州	2 830	2 790	212	212	292	629	508
福 岡	398	393	24	24	29	74	85
佐 賀	165	164	27	16	25	39	32
長 崎	260	260	39	6	29	72	35
熊 本	913	909	56	71	92	194	182
大 分	265	264	14	21	27	57	39
宮 崎	455	455	31	49	59	126	83
鹿 児 島	377	347	21	25	31	67	52

注：学校等の非営利団体を除きます。（以下の表も同じ。）

(2) 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数

区分	計	1~2頭	3~4	5~9	10~19	20~29	30~49
全 国	85 100	16 500	14 500	21 000	14 100	5 420	4 480
九 州	38 300	6 340	6 680	10 800	7 050	2 240	1 890
福 岡	224	22	13	17	18	14	22
佐 賀	1 060	93	102	196	181	86	95
長 崎	4 430	980	868	1 280	609	242	193
熊 本	4 320	837	762	1 040	691	280	234
大 分	2 520	474	463	664	459	119	138
宮 崎	10 600	883	1 550	3 490	2 580	751	548
鹿 児 島	15 100	3 060	2 920	4 160	2 510	750	662

(3) 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	計	1~299頭	300~499	500~999	1,000~1,999	2,000頭以上
全 国	6 620	2 320	864	1 410	1 130	904
九 州	1 870	697	215	396	309	253
福 岡	71	20	11	16	15	9
佐 賀	74	27	7	22	7	11
長 崎	145	45	21	34	26	19
熊 本	280	94	32	75	49	30
大 分	87	24	9	18	20	16
宮 崎	469	139	47	110	95	78
鹿 児 島	744	348	88	121	97	90

(4) 採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	計	1千~5千羽	5千~1万	1万~5万	5万~10万	10万羽以上
全 国	3 280	888	526	1 200	308	352
九 州	664	155	112	290	64	43
福 岡	136	40	30	53	6	7
佐 賀	43	16	9	15	3	-
長 崎	88	22	17	43	3	3
熊 本	79	25	7	29	10	8
大 分	47	13	9	15	6	4
宮 崎	79	13	7	33	19	7
鹿 児 島	192	26	33	102	17	14

注：規模別上限は、未満。

単位：戸

				子畜のみ
40～49	50～79	80～99	100頭以上	
3 210	4 940	1 200	1 570	594
369	350	105	115	41
69	56	15	17	5
10	7	5	3	1
26	37	7	9	-
122	116	34	42	4
31	32	18	25	1
59	30	13	5	-
52	72	13	14	30

単位：戸

50～99	100～199	200頭以上
4 300	2 520	2 260
1 570	904	745
54	32	32
142	101	60
113	93	59
182	148	146
117	40	48
437	186	162
528	304	238

6 規模別飼養頭(羽)数

(1) 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養頭数

区分	計	小計					
		1~9頭	10~14	15~19	20~29	30~39	
全 国	1 610 000	1 602 000	30 000	29 400	46 700	132 400	184 100
九 州	145 400	145 200	1 660	3 270	6 060	19 900	25 300
福 岡	21 300	21 200	160	400	610	2 260	4 080
佐 賀	5 880	5 880	220	210	540	1 190	1 410
長 崎	12 300	12 300	360	80	590	2 280	1 630
熊 本	49 400	49 400	370	930	1 880	6 570	9 240
大 分	18 200	18 200	90	360	600	1 840	1 810
宮 崎	18 900	18 900	290	870	1 130	3 530	4 650
鹿児島	19 400	19 300	170	420	710	2 220	2 430

注：学校等の非営利団体を除きます。(以下の表も同じ。)

(2) 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養頭数

区分	計	1~2頭	3~4	5~9	10~19	20~29	30~49
全 国	2 699 000	26 900	52 600	147 300	201 100	138 000	178 000
九 州	1 004 000	10 300	25 000	79 200	101 800	60 300	76 500
福 岡	28 500	40	40	110	230	400	820
佐 賀	61 600	160	360	1 310	2 500	2 030	3 600
長 崎	89 400	1 890	3 380	9 600	8 960	6 500	8 380
熊 本	141 100	940	2 320	8 150	8 930	8 030	8 120
大 分	63 100	810	1 720	4 700	6 740	2 960	5 700
宮 崎	269 200	1 730	5 970	24 500	37 100	20 500	22 100
鹿児島	351 700	4 740	11 200	30 800	37 400	19 900	27 800

(3) 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養頭数

単位：頭

区分	計	1~299頭	300~499	500~999	1,000~1,999	2,000頭以上
全 国	9 147 000	374 600	391 000	1 151 000	1 720 000	5 511 000
九 州	2 887 000	118 500	97 100	323 700	467 400	1 880 000
福 岡	71 000	2 230	4 550	13 000	21 100	30 100
佐 賀	79 100	4 590	3 760	20 400	10 300	40 100
長 崎	187 600	7 640	8 430	27 300	37 900	106 300
熊 本	272 300	15 000	15 000	60 600	68 200	113 600
大 分	142 000	3 740	4 310	15 000	31 000	88 000
宮 崎	859 500	32 600	22 400	89 900	150 800	563 800
鹿児島	1 275 000	52 700	38 600	97 600	148 100	938 200

(4) 採卵鶏の成鶏めす飼養羽数規模別飼養羽数

単位：千羽

区分	計	1千~5千羽	5千~1万	1万~5万	5万~10万	10万羽以上
全 国	136 447	2 130	3 671	27 337	21 200	82 109
九 州	20 300	356	772	6 870	4 427	7 875
福 岡	3 499	89	185	1 180	444	1 601
佐 賀	642	42	69	310	221	-
長 崎	1 799	36	132	1 092	205	334
熊 本	2 275	59	46	555	637	978
大 分	1 323	25	64	337	422	475
宮 崎	3 362	38	49	927	1 233	1 115
鹿児島	7 400	67	227	2 469	1 265	3 372

注：規模別上限は、未滿。

単位：頭

				子畜のみ
40～49	50～79	80～99	100頭以上	
200 200	427 600	151 300	400 100	7 980
22 400	29 200	12 000	25 400	240
4 370	4 680	1 870	2 800	30
580	570	590	570	X
1 530	3 180	860	1 840	-
7 290	10 500	3 530	9 120	50
1 900	2 640	2 070	6 910	X
3 680	1 860	1 600	1 290	-
3 070	5 830	1 480	2 920	160

単位：頭

50～99	100～199	200頭以上
301 300	368 400	1 285 000
113 700	139 400	398 300
3 980	3 770	19 100
10 400	14 400	26 800
8 020	14 900	27 800
10 500	22 100	72 000
8 790	5 760	25 900
31 600	31 400	94 200
40 400	47 100	132 400

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、主要家畜に関する規模別・経営タイプ別飼養戸数及び状態別飼養頭羽数等を把握し、我が国の畜産生産の現況を明らかにするとともに、飼養動向を予測するための事項を取りまとめ、畜産行政における施策の策定等に資料を提供することを目的としています。

2 調査の対象

本調査は、全国の乳用牛飼養者、肉用牛飼養者、豚飼養者及び採卵鶏飼養者（成鶏めす1千羽未満の飼養者を除く。）を対象としています。

なお、飼養者が複数の畜種を飼養している場合は、それぞれの畜種別に調査の対象としました。

3 調査客体数

調査対象は、都道府県別に学校等の非営利団体とそれ以外の飼養者（以下、「一般飼養者」という。）に分け、一般飼養者は標本抽出により調査客体を選定し、非営利団体は全数を調査客体としました。なお、九州管内における、畜種ごとの調査客体は次のとおりです。

- (1) 乳用牛 : 588客体
- (2) 肉用牛 : 1,477客体
- (3) 豚 : 969客体
- (4) 採卵鶏 : 563客体

4 調査期日

平成18年2月1日現在で調査しました。

5 調査方法

乳用牛及び肉用牛の一般飼養者の調査客体については、調査員による面接聞き取り調査、それ以外の調査客体については郵送調査を行いました。

また、乳用牛調査及び肉用牛調査における品種別の飼養頭数等は、牛個体識別システム（全国のすべての牛に対して付けられた固有番号により、各個体の生産・異動情報を管理するシステム（家畜改良センター））のデータを利用することにより、把握しています。

それぞれの方法により把握している項目は、次のとおりです。

(1) 本調査による調査項目

- ア 乳用牛・・・経産牛・搾乳牛等の状態別頭数
- イ 肉用牛・・・肥育用牛、子取り用めす牛等の目的別頭数

(2) 牛個体識別システムデータによる把握項目

- ア 乳用牛・・・飼養頭数（計）、乳おす出生頭数、交雑種出生頭数
- イ 肉用牛・・・飼養頭数（計）、肉用種頭数（黒毛和種・褐色和種・その他）、肉用

種めす年齢別頭数、肉用種おす年齢別頭数、ホルスタイン種他頭数
(うち、めす除く)、交雑種頭数、肉用種出生頭数

6 集計方法

集計は都道府県ごとに行い、全国・九州結果は都道府県結果の積算により作成しました。

なお、乳用牛の経産牛、搾乳牛等の状態別頭数、肉用牛の肥育用牛、子取り用めす牛等の目的別頭数については、調査結果及び牛個体識別システムにより得られたデータを基に推計しました。

7 比較対象年次について

乳用牛及び肉用牛については、前年調査(平成17年2月1日現在)結果を比較年次としました。

豚及び採卵鶏については、前年調査を「2005年農林業センサス」実施年であったことから休止しました。このため、比較年次は前回調査(平成16年2月1日現在)結果としました。

8 用語の解説

乳用牛	搾乳を目的として飼養している牛(将来搾乳する目的で飼養している子牛を含む。)をいいます。 本調査は乳用牛、肉用牛の区分は品種区分ではなく、利用目的によって区分するため、調査対象はめすのみとし、交配するためのおすは除きます。 なお、めすの未經産牛を肉用目的に肥育しているものは肉用牛とし、搾乳の経験のある牛を肉用に肥育(例えば老廃牛の肥育)中のものは肉用牛とせず乳用牛に含めました。
成畜	満2歳以上の牛をいいます。 ただし、2歳未満であっても既に分べんの経験がある牛は、ここに含めました。
子経産牛	2歳未満の牛で、分べんの経験のない牛をいいます。
搾乳牛	分べん経験のある牛をいい、搾乳牛と乾乳牛とに分けられます。
乾乳牛	経産牛のうち、搾乳中の牛をいいます。
未經産牛	経産牛のうち、搾乳をしていない牛をいいます。
分べん頭数	なお、搾乳経験の牛で肉用に肥育中の牛(乳廃牛)はここに含めます。 出生してから、初めて分べんするまでの牛をいいます。 分べんした頭数をいい、正常な分べんのほか、早流産、死産も含めました。
出生頭数	生きて生まれた子牛の頭数をいいます。
乳用向けめす	出生した子牛のうち、乳用に仕向けるめすをいいます。
乳用種おす	出生した子牛のうち、乳用種のおすをいいます。
交雑種	出生した子牛のうち、乳用種のめすに肉用種のおすを交配して生産された、いわゆるF1牛をいいます。F1めす牛に肉用種おすを交配し生産されたF1クロス牛も含めました。
肉用牛	肉用を目的として飼養している牛をいいます。 本調査は肉用牛、乳用牛の区分は、品種区分ではなく、利用目的によって区分するため、乳用種のおすばかりでなく、未經産のめす牛も肥育を目的として飼養している場合は肉用牛としました。 ただし、搾乳経験のある牛を肉用牛に肥育しても肉用牛に含まれません。

肉	用	種	乳用種以外の肉用牛をいいます。黒毛和種、褐毛（あか毛）和種、その他に分類し、その他は黒毛和種、褐毛和種以外の肉用種（外国種を含む。）としました。
黒毛和種	毛和種	種	毛色・角・ひづめは黒色。肉質は他の品種より優れています。
褐毛和種	毛和種	種	毛色は黄褐色から赤褐色。角、ひづめはべっこう色や黒色。
その他の	の	他	黒毛和種、褐毛和種以外の肉用種。無角和種、日本短角種等の和牛の他、ヘレフォード、アバディーンアンガス等外国牛の肉専用種、肉用種の雑種も含めます。
肥育用牛	育	用牛	肉牛として販売することを目的に飼養している肉用種の牛をいいます。したがって、ほ乳・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育用牛としました。
乳用種	用	種	ホルスタイン種等の乳用種のうち、肉用を目的として飼育している牛をいいます。
ホルスタイン種	種	他	交雑種を除く乳用種のうち、肉用を目的として肥育しているおす牛及び未経産のめす牛をいいます。
交雑種	雑	種	乳用種のめすに和牛等の肉用種のおすを交配し生産された、いわゆるF1牛をいいます。F1めす牛に肉用種おすを交配し生産されたF1クロス牛も含めました。
豚肥育豚	肥	育豚	肉用を目的として飼養している豚をいいます。 自家で飼養して肉豚として販売することを目的として飼養している豚をいい、肥育用のもと豚として販売するものは含めません。
子取り用めす豚	子	取	生後6か月以上で子豚を生産することを目的として飼養しているめす豚をいい、過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚です。
種おす豚	種	おす豚	生後6か月以上で種付けに供することを目的として飼養しているおす豚をいい、過去に種付けに供したことのある豚及び近い将来種付けに供することが確定している豚です。
その他の	の	他	上記以外の豚をいいます。また、肥育用のもと豚として販売するものはここに含めません。
成鶏めす	成	鶏めす	鶏卵を生産することを目的として飼養している鶏をいう。 生後6か月以上のめすの鶏をいいます。
ひな	ひ	な	ただし、種鶏の成鶏めすは除きました。 生後6か月未満のめすの鶏をいい、産卵をしても6か月未満の鶏はここに含めました。
			ただし、種鶏のひなは除きました。

9 その他

- (1) この資料の数値は概数であり、確定値は追って刊行される『平成18年畜産統計』に掲載します。
- (2) 数値は、単位未満を四捨五入したため、計と内訳が一致しないことがあります。
- (3) 表中「-」は事実のないもの、「×」は個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表しないものです。

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第4係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線4756

直通電話： 096 - 353 - 7577

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線4723

直通電話： 096 - 353 - 7556